雄　飛

向陽高校進路便り　第 70 号
平成 29 年12月7日(木)
～覇天昇界～

２２期生センター試験まで
３７！

医療系のお仕事あれこれ

向陽生にも憧れる生徒が多い、医療系の職種。どんなお仕事があるのか、さらりとご紹介。詳しくは調べてね。

キャリアガーデン　http://careergarden.jp/careerlist/medical-category/

医師

医学の専門知識を有し、病気やケガの診察・治療や、病気の原因を解明する研究を行う

医師の仕事の範囲は、大きな施設では、小児科、心療内科などに細かく科が分かれ、それぞれの医師が専門の治療を行いますが、町の診療所などでは、一人ですべての症状を見ることが求められます。医師になるためには、医学部で学び、医師国家試験に合格することが必要です。医学部への入学は難関であり、入学後も国家試験の勉強に追われます。国家試験合格後は、2 年間の研修を経て、医師として働くことができるようになります。医師は高給と言われていますが、その分心理的、身体的負担も大きい仕事です。開業医になるまでは、不規則な生活を覚悟しなければなりません。

薬剤師

医薬品の専門知識を持ち、処方箋に基づく薬の調剤や、患者さんへの服薬指導を行う

薬剤師は、病院や薬局で、薬剤の調剤と服薬指導を行う仕事です。調剤とは、医師の処方箋に従って、医薬品を調合することであり、服薬指導とは、どの薬をどのようなタイミングで飲めばいいかを患者にわかりやすく説明することです。勤務先には、病院、調剤薬局、ドラッグストア、製薬会社などがあります。薬剤師として働くためには、薬学部にて 6 年間学び、薬剤師国家試験に合格しなければなりません。薬学部の学費も高いですが、就職後の給料は安定しています。特に地方においては薬剤師が不足している状況であり、就職に困ることもありません。

看護師

医療現場で患者さんの心身のケアを行い、医師の診察・治療をサポートする

医師が患者の診察や治療を行う際に補助をしたり、病気や怪我の患者のケアを行う仕事です。血圧、体温、脈などの測定、注射、点滴、採血などの治療の補助、食事やお風呂、ベッドメーキングなどの身のまわりの世話などを行います。看護師になるためには、看護師養成の課程がある学校において 3～4 年学んだのち、看護師国家試験に合格し、看護師免許を取得することが必要です。医師や薬剤師、栄養士などがチームを組んで治療を行う「チーム医療」において、看護師は今まで以上に重要な役割を担うようになってきていますが、高齢化社会が進む状況において、看護師は不足している状況です。

保健師

企業、学校、保健所などに勤務し、病気の予防や健康増進のための指導とアドバイスを行う

保健師は、地域の人々や学校の生徒などが健康に暮らせるようサポートする仕事です。医師や看護師が病気や怪我の治療が主なのに対し、保健師は予防や健康増進をする役割を担っています。健康診断や予防注射、健康相談、乳幼児の検診など、業務内容は多岐に渡ります。保健師になるためには、看護師の資格をもっていることが前提となります。そのうえで、保健師国家試験に合格する必要があります。求人数は多くありませんが、採用後は地方公務員の待遇となるため、給料は安定しており、比較的規則正しい勤務時間で働くことが可能です。

臨床検査技師

医師の指導の下、病気の診断や治療に必要な心電図・脳波・血液などの各種検査を行う

臨床検査技師とは、病院や保健所などにおいて、医師の指示の下で、病気の診断や治療のために、各種の検査を行う仕事です。心電図や脳波など患者本人の体の生理的反応や機能を測定する「生理学的検査」、患者の体の組織や血液や尿などを採取し、それらの成分や細菌の有無などを調べる「検体検査」などを行います。データの分析力や根気の強さが求められます。新しい機器や検査法が次々に生まれ、医療の専門化が進んでいる状況において、検査のスペシャリストである臨床検査技師の役割は高まってきています。

MR

医薬品メーカーに所属し、医薬品に関する効能や副作用などの最新情報を病院に提供する

MR(Medical Representatives)は、日本語で「医薬情報担当者」を意味し、医薬品のスペシャリストとして病院などの医療現場に情報を提供する仕事です。飲み薬、塗り薬、注射や点滴で使う液剤など、あらゆる医薬品の情報を持ち、医師や看護師に副作用や適応症に関する正しい情報を伝えるとともに、副作用に関する情報を吸い上げ、報告することで、医薬品の被害を最小限に抑える役割を担います。成果主義の仕事であるため、個人の売上実績に応じてインセンティブがつく企業も多く、年収 1000 万円以上を得ることも可能です。MR の増加で、就職の倍率は高くなっています。

エナジードリンクを飲む子ども達に起きている「異変」

Yahoo!ニュースを見ていたら、向陽生にももしかしたら…？という不安ばかり広がってしまったので、シェア致します。皆さんの周りにも、モンスターに頼っているお友達、いませんか？心と体のバランス、とれてますか？

「人が変わった」中３男子

「テンションのアップダウンが激しすぎて、(飲み続けていたら)包丁持って暴れたりしていたんじゃないかな」
静岡県に住む中学 3 年生のツバサ君(仮名)は、1 日 1 本以上エナジードリンクを飲んでいた中学 1～2 年生の時を振り返る。当時は周囲から「人が変わった」と言われていたという。
入学当初はどちらかというとおとなしい生徒だった。だが、ある時期から、教室中に響き渡るような高笑いをしたり場違いなふざけ方をしたりするなど、周囲が戸惑う行動を繰り返すようになった。それを注意する教師に激しく食ってかかるようにもなった。一方で、帰宅すると、ゆううつになり、母親に「頭痛い」「死にたい」と頻繁に訴えていた。
ツバサ君が初めてエナジードリンクを手に取ったのは小学校卒業からまもない時期。最初は体がだるいと感じた時にときどき飲む程度だったが、中 1 の冬頃から毎日飲むようになる。カフェイン量のより多い商品を選ぶことが多くなった。
「モヤモヤした気持ちを消したくて、寝たくないから飲む。夜 10 時ごろに飲んで 1 時間くらいして効いてくると、もうじっとしてられない。スマホでチャットしたり、テンションの高い曲を聴いたりして、気づいたら朝という感じ」
この時期のツバサ君の様子を、小学生時代からツバサ君を知る保健室の養護教諭は「彼本来の姿じゃなく、おかしいと感じていた」という。

東京都内の中学校。3 年生の女子生徒は、受験勉強のため、エナジードリンクを 1 日 2～4 本飲んでいた。頭痛や頻脈が頻繁に起こるようになり、勉強をやめて、夜通しポルノ描写のある映像を見ては「私もやりたい」などと保健室で口にしだした。「エナジードリンクを飲まないとやってらんない」。その言葉に依存を疑った養護教諭が諭すと、生徒は「それでも手が出ちゃうの！」と叫んだ。養護教諭や友人らが説得を続け、生徒が飲むのをやめると、次第に異変は落ち着いていったという。

「**興奮状態やいらつき、頭痛はカフェイン中毒のよくある症状**です。頻脈や頻呼吸、胸痛などが現れる人もいるし、**依存性もあります**」カフェイン中毒に詳しい上條吉人・埼玉医科大教授はそう語る。
冒頭のツバサ君の問題行動や身体的な異変についても、エナジードリンクを日々飲む習慣と一致して出現していることから、カフェイン中毒の影響である可能性が「十分にある」と上條教授は指摘する。
日本でカフェインの健康被害が注目されるようになったのは 2015 年 12 月、九州の 20 代男性の死亡例が報道されたことだった。24 時間営業のガソリンスタンド勤務だったその男性は、エナジードリンクを常飲しており、福岡大学法医学教室の分析では、胃からはカフェイン錠剤も見つかったという。血液からは致死量に達する 1ml あたり 0.182mg のカフェインが検出された。

「子どもの手が届きやすい」エナジードリンク

「カフェインは昔からコーヒーなどの嗜好品に入っている天然の成分だから、たいしたものじゃないという先入観が一般にある」米国精神医学会の医師らによる医学書『アディクション・ケースブック』によると、カフェイン中毒の特徴的な症状としては、**興奮／不安／ふるえ／頻脈／利尿／胃腸系の障害／痙攣／不眠**がある。さらには、黙っていることができず話し続けたり異常な妄想にとらわれたりといった、躁病に似た症状も見られるという。
「子どもにとってタバコやお酒は危険だと誰もが思うでしょうが、カフェインも同じ。中毒になりかねないものなのに、あまりに知られておらず啓発もされていないのが現状です」

いかがでしたか？頼ってしまい、身体を壊してしまうのは本末転倒。学習方法やメンタルもコントロールできる人になってね。